

豚コレラの早期終息に向けた緊急かつ具体的な対策を求める意見書

昨年9月に国内で26年ぶりに発生した豚コレラは、関係者による懸命な努力にもかかわらず、これまでに14万頭を超える豚の殺処分が行われるなど甚大な被害をもたらしています。また、感染地域も、養豚の主要産地を擁する関東圏まで広がるなど、終息が見通せないどころか、さらなる広域化の様相を呈しています。この状況は、豚コレラ対策が新たな局面に入ったと認めざるを得ません。

よって、国におかれましては、今回の事態を国家レベルの危機的な事案と受けとめ、飼養豚へのワクチン接種を速やかに進めるとともに、取引価格の下落や風評被害が生じないよう、野生イノシシの捕獲強化や戦略的な経口ワクチンベルトの構築を行うこと及びアフリカ豚コレラの国内侵入を防止するため、一層の水際対策の強化、徹底を図ることについて、緊急かつ具体的に取り組むことを強く要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和元年12月12日

北海道江別市議会

提出先
内閣総理大臣
農林水産大臣